

【事業実績】

1. 「建築家・磯崎新」建築作品の広域データベース化

①広域データ・ベース「磯崎新 建築アーカイブ」の制作

北九州市及び大分市の磯崎建築を顕彰し、現在の姿を後世に残すため、大分市のアートプラザ、北九州市内の4施設（中央図書館（文学館）、国際会議場、西日本総合展示場）について、ドローン撮影による動画を作成した。作成にあたっては、協力館である大分市美術館、北九州市立中央図書館、北九州市立文学館、（公財）観光コンベンション協会と西日本工業大学 石垣教授、美術専門家 菅章氏の助力を得た。



②建築アーカイブの公開（令和7年1月）

建築アーカイブは4か国語対応とし、動画においては2か国語対応のテロップを作成した。

<https://kmma.jp/isozakiarata/> 表示回数：1,073回（令和7年1月6日～2月26日）

③観光動画の作成とYouTubeによる公開（令和7年1月）

北九州市内の4施設については、北九州市と連携し、市の観光情報サイト「グルリッチ北九州市」にて掲載し、観光モデルコースの一つとして広くPRを行った。

<https://www.youtube.com/watch?v=Xv7oLx-GK9w>

※②③については福岡情報サイト「ささっとー」でウェブ記事を公開

<https://sasatto.jp/article/entry-7687.html>



④記念講演会（令和7年1月13日）

建築アーカイブの完成を記念し、記念講演会を開催した。

対面81名、オンライン131名の参加

⑤建築系学生の授業での活用（令和7年1月24日）

西日本工業大学にてデータベースを活用した授業を実施した。76名が参加。

（写真 記念講演会、学生授業 ZOOM 録画切り取り）



⑥来年度に向けて

- ・市の観光課の助力を得て磯崎新建築をめぐる観光コース設定について協議
- ・放送大学福岡学習センターと連携し、オンラインセミナーの実施を検討
- ・全国の建築系学校にデータベースについて広く広報を行い、授業での活用を促進

2. 次世代育成「オンライン・ミュージアム・ツアー」の創設

①デジタルコンテンツを活用した新しい授業プログラムの構築

協力団体である北九州市教育委員会と連携し、従来の招待型のミュージアム・ツアーにかわる新しい授業プログラムを開発した。

●対象：小学校4年生 ●時間：45分間 ●オンライン配信ツール：ZOOM

●授業の流れ

ア 美術館紹介（動画視聴）

イ 館内VR映像による美術館内探検（児童の端末で視聴）

ウ 作品の対話型鑑賞と意見交換（大型モニターでの鑑賞導入動画視聴・児童の端末で高精細画像鑑賞）

エ レプリカをさわる（レプリカ）※出張授業、教員による授業のみ

②デジタルコンテンツの制作

プログラムに必要とするデジタルコンテンツを制作した。

ア 美術館紹介動画（ドローン撮影 5分間 ナレーション入り）

<https://kmma.jp/education/online/>

イ 館内VR映像（エントランス・3階展示室）

※3D映像は一部のみ 公開用のためぼかしがあるが、実際の教育用ではぼかしなし。

<https://sabia.co.jp/mdx/kmma/vr/public/opening.html>（ID:kmma Pass:sabiart）

ウ 高精細画像（作品例 エドガー・ドガ《マネとマネ夫人像》）

<https://sabia.co.jp/wp2020/image-kmma.php?link=oa4EJcQ1n03f7GAMXT21b6RPGAMoVxUdKxolmbIDG7I>

エ レプリカ（絵画 エドガー・ドガ、彫刻 ロダン）



③オンライン・ミュージアム・ツアー試行実施

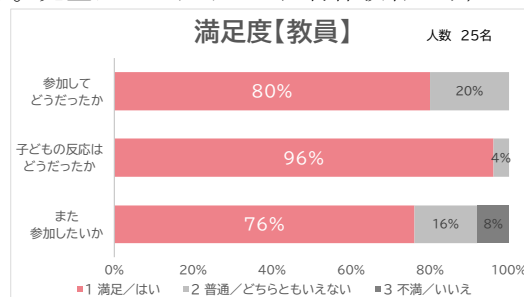
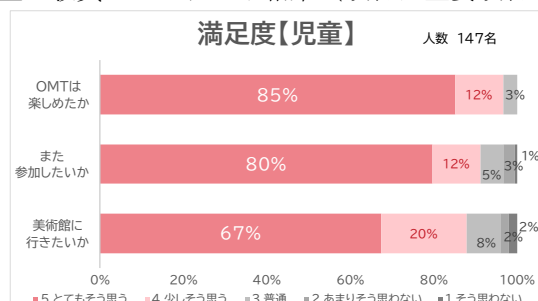
教員用のマニュアルを作成し、市内の小学校 20 校に試行実施した（令和 6 年 12 月～令和 7 年 2 月）。

（内訳）オンライン：18 校 教員授業：1 校 出張授業：1 校

試行では、児童がいきいきと授業に参加し、特に対話型鑑賞で活発な意見交換がなされた。タブレット端末で見る館内 VR 映像、拡大して細かなところが見える高精細画像は常に好評であった。精巧なレプリカには高い関心を示した。試行の様子は 5 社が取材し、3 社が報道（読売新聞、福岡放送「めんたいワイド」、九州朝日放送「ぎゅっと」）。



■児童・教員のアンケート結果（項目は主要項目のみ。児童はオンラインの試行体験者のみ）



■児童・教員の声

「美術館と違って、教室ではみんなの意見が聞けた。一つの絵でもいろいろな見方があると思った」
「館内 VR やタブレットで見る画像が細かいところまで見ることができた」「美術館の映像がとてもしきれいで行きたくなった」「最初はオンラインでうまく行くか心配していたが、スムーズに進み、子どもたちが非常に楽しんでいた」「美術館に触れる貴重な体験となった」

④オンライン・ミュージアム・ツアーの成果・来年度の取組

来年度から市の教育委員会と連携して、市立小学校 4 年生全員（約 7,000 人）と希望する特別支援学校に実施予定。他の美術館にない本市独自の先進的な取組となる。

⑤ワークショップ等でのデジタルコンテンツの活用

ア レプリカを使った演劇公演 ゲキシビジョン（劇+北九州市美）

（令和 6 年 10 月）

イ 小倉北区内でのレプリカの展示 NBC 街角ギャラリー

（令和 6 年 11 月～令和 7 年 2 月）

ウ ワークショップでのレプリカ展示 黒崎子どもの館（令和 7 年 2 月）

